

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870104209
法人名	株式会社 ケアジャパン
事業所名	グループホームハッピー余戸よしこハウス
所在地	松山市余戸東2丁目3-17
自己評価作成日	平成21年7月24日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年8月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・なるべくご本人の希望すること(入浴時間やTVの内容など)にはそえるよう支援している。</p> <p>・わがままにならないよう他の方の事もお伝えして理解を得るようにしている。</p> <p>・安心して安全に暮らせるよう支援している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>地域の民生委員、老人会、町内会の方や、市社協、地域包括支援センターの方、ご家族、職員が参加して運営推進会議を開催されており、近況報告や意見交換、かかりつけ医による認知症や老人性鬱についての講演等も行われている。市社協の方が「靴の中に事業所の電話番号を書いておくといいよ」と教えてくださったり、そのアイデアをもとに他のアイデアにも広がり、利用者のさらなる安全への取り組みにつながっている。</p> <p>利用者個々から得た情報をアセスメント表に集め、好き嫌いも含めて、日々の生活支援に採り入れておられる。聴覚障害者の利用者の為に、週3回手話通訳の方に来ていただいたり、管理者の方も手話の勉強に1年間通われ、日常会話を習得してご本人の思いの把握に努力されている。</p>
--

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目: 28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名	株式会社 ケアジャパン
(ユニット名)	グループホームハッピー余戸・よしこハウス
記入者(管理者)	
氏名	宮崎 八恵美
評価完了日	21年 7月 24日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) ホーム理念として地域との関わりを提げている。基本的に玄関先で何かをしている時には、お会いした方々に挨拶をしている。	
			(外部評価) 事業所の理念に基づき、「地域に馴染めるホームを目指します」「この町で暮らし地域の一人として生活していくことを支援します」とユニット毎に理念を掲げ、利用者が近所の人達とつながりが持てるよう取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) ほぼ毎日散歩に行く公園では、小さな子供たちや若いお母様方、買い物に行ったらお店の方や買い物に来られているお客様に、グループホームの人でありながらも、この地域の中で暮らしている事を分かって頂いている。	
			(外部評価) 事業所は「まもるくんの家」に協力されている。昨年度、小学校の授業の一環で小学生の訪問があり、今年は、交流の仕方について事前に計画して来てくれるようになっている。市民大清掃には、職員が必ず参加され、よくお散歩に行く近所の公園の掃除をされた。毎年、近所のお宅の庭の桜見物に寄せてもらっている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 前年度と同じように運営推進会議や消防訓練などで地域の方にも参加して頂き、ご理解をして頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2 ヶ月に一度ご利用者さんの近況報告や、市や地域包 括支援センターの方から気になったことや改善点など があれば、 アドバイスを頂く。又、ご利用者様のご家族さんが来 られていたらご意見ご要望や聞きたい事何でもお話を させて頂きサービスの向上につなげている。</p>	<p>管理者は、「事業所資源を地域へ還元したい」と考え ておられる。かかりつけ医の講演等、会議で取り組ん でおられることについて地域の方達にも案内する等、 地域の認知症ケアの向上に向けて、取り組みをすすめ ていかれてはどうだろうか。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>地域の民生委員、老人会、町内会の方や、市社協、地 域包括支援センターの方、ご家族、職員が参加して会 議を開催されており、近況報告や意見交換、かかりつ け医による認知症や老人性鬱について講演等も行われ ている。市社協の方が「靴の中に事業所の電話番号を 書いておくといいよ」と教えてくださったり、そのア イデアをもとに他のアイデアにも広がり、利用者のさ らなる安全への取り組みにつながっている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市や包括センターなどの講演会や説明会には出席させ て頂き情報交換を行っている。</p>	<p>運営推進会議時、市の担当者の方が、「介護保険法の 改正について」や「おれおれ詐欺」の注意事項等につ いて、出席者に説明して下さった。</p>
			<p>(外部評価)</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日中は玄関の鍵は開けており、夜間のみ施錠しており ます。 身体拘束をしないよう努力はしておりますが、安全の ため夜間家族さんの同意の下、身体状況を考えベッド 柵を使用し落ちない様にしている。</p>	<p>玄関の施錠はしておらず、庭で過ごすのがお好きな利 用者には、職員が見守っておられる。「転倒して骨折 するのは避けたい」というご家族の要望で、ご本人が 寝ている時のみ、ベッド柵をされており、ベッドサイ ドには、マットセンサーを付けておられた。</p>
			<p>(外部評価)</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティング等で職場と話し合い虐待は無いが又、言葉の暴力は無いが、今のままの対応でいいのか話し合っている。 個人的に必要な時は注意している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) この1年間で権利擁護に関する勉強はしていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 前回以降の新規のご入所の方はありませんが、入所の際には十分説明をさせて頂いています。又、ご家族様からの疑問点にも対応させて頂いております。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 2ヵ月に一度の運営推進会議にて家族さんからのご意見やご質問など対応できる様に職員にはミーティングや申し送りにより全員に周知徹底して日々のケアに反映させていくよう努力している。又、出席できない方にも来所して頂いた時に近況をお伝えし、又、家族さんからのご要望もお聞きしている。 (外部評価) 年2回、家族会を開催し、利用者ご家族、職員でカラオケや食事を楽しみ親睦を図っておられ、家族同士の交流の機会にもなっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	(自己評価)	
			<p>ミーティング時には必ず出席した人の意見を聞き自分たちができる事を共有し一層努力していくこと、又、バーンアウトしない様に休暇も希望に応じて対応している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>「何でも言いま書」の仕組みで職員から母体法人に、直接要望や意見が伝わるようになっている。普段から管理者と職員は、コミュニケーションを大切にされており、気軽に意見を出し合っておられる。</p>	
12		<p>就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>なるべく勤務内容や体制など考えて勤務表を作成している。個人のペースや体力に応じてそれぞれ声掛けし合いながら勤務しています。職員の要望も本社ミーティングにて本部にも伝えている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>県主催の研修にも参加してほしいので年に一回は必ず研修を受講しようということにしている。ただ体力的や家族さんの体調とかで十分に研修参加出来るかどうか、一回のみになってしまいそうである。</p>	
14		<p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)	
			<p>地域包括支援センターの主催による西地区内のグループホームの方々と地域との関わり方や新しい入所の方の選び方とかどのようにしているかなど情報交換をしている。</p>	
			(外部評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		<p>初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	
			<p>入居前にも必ずご本人から困っている事や不安な事、又生活歴などお聞きして受け止めながらホームにも慣れて頂いている。出勤者の中の誰にでも相談できることにより安心してして頂いている。</p>	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前には必ず家族さんから困っている事や、不安な事、ご要望など伺い関係作りに努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前にご本人とご家族さんよりまず一番必要としている事を会話と身体観察の中から見極めて支援している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員がご利用者の方に声を掛けて洗濯物を干したりたたんだりすることによって共に生活している関係を築いている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご利用者さんから家族さんには言えない事や、職員には言えない事があるかもしれないので、電話や来所された時には近況をお伝えして新しい問題点や気づいたことなどお互いにお話ができる様にしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>来所される方はご家族さんが多くご友人が来られる事は無くなってきている。来られた時には居室でゆっくりお話をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の友人が訪ねて来てくれ、一緒におやつや食事を楽しまれたり、ご自宅の隣人の方と電話でお話することで「生活に張り合いが出た」利用者もおられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) それぞれ意思表示の出来る方は、言葉を交わしている。 言葉を出せない方にはふれあってとか声を掛けて笑顔でうなずくだけでも安心されている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 以前に利用が終了している方からはほとんど連絡はありませんが、病院などでご家族さんの方とお会いすると懐かしくお話をしてくださっています。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) それぞれの希望や意向の把握には努めている。 家族さんに相談したり、職員間でミーティング・カンファレンスをして取り組んでいる。共同生活のため少しは我慢もして頂いている。 (外部評価) 利用者個々から得た情報をアセスメント表に集め、好き嫌い等も含めて、日々の生活支援に採り入れておられる。聴覚障害者の利用者の為に、週3回手話通訳の方に来ていただいたり、管理者の方も手話の勉強に1年間通われ、日常会話を習得してご本人の思いの把握に努力されている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時にご本人やご家族さんからお聞きしたり、入居してからじっくりお話をすることでこれまでの暮らしの把握をしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) その日の健康状態や理解して行動できるかを一人一人声掛けや観察によって見極めて対応していくように努めている。 又、不穏な時はじっくり話を聞き安心出来るよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ケアプランはミーティング時にそれぞれ3ヶ月に一度カンファレンスを行い、ご本人の希望にそった介護が出来るように職員間で話し合っている。又、かかりつけ医に相談し、家族さんとも話し合っって計画を立てている。	
			(外部評価) 利用者個々のアセスメント表に基づき、職員の気付きやご家族からの要望等を取り入れて、介護計画を作成されている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 生活記録を日々付けており、実践や日々気づきた事など記入している。特変があった時は赤色記入している。夜間は青色で見分けるようにしている。又、カンファレンスなどで活用している。	
			(外部評価)	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 一人介助で支援出来ない入浴やトイレも二人介助で特浴や一般浴、トイレに行つての排泄など、以前と同じ様にゆっくりして頂けるように支援している。	
			(外部評価)	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域の行事など民生委員の方などから教えて頂いたり回覧板を回して作業など参加したりしている。ご利用者の方はなかなか参加しにくいですが、イベント行事には出来るだけ見学に行ったりしている。(運動会や夏祭りなど)	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) ご本人やご家族さんの希望に応じ、納得された先生や もともと通っていた先生から医療を受けれるように支 援している。	
			(外部評価) 協力医療機関やこれまでのかかりつけ医の往診があ る。ご家族と他の病院に通院している方には、日常の 様子を説明する為に職員が付き添うこともある。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) ケアセンター内のデイサービスの職員に看護職員が おりますので、毎日の健康状態が分かる様にしており、 急な変化がある時など相談してます。お一人訪問看護 を受けており、その方の体調など報告している。	
			(外部評価) 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	
32		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) ケアセンター内のデイサービスの職員に看護職員が おりますので、毎日の健康状態が分かる様にしており、 急な変化がある時など相談してます。お一人訪問看護 を受けており、その方の体調など報告している。	
			(外部評価) 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) ご本人やご家族さん、かかりつけ医を含め話し合いを持 ち、 事務所（職員）ができる事を説明し日々変化していく 体調をチームで十分話し合い支援している。	
			(外部評価) 医療機関から看取りに関するパンフレットをいた だき、ミーティング時等に職員に周知されている。事業 所では、看取りを経験されて、医療機関やご家族との 連携の大切さを感じておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) まずバイタルチェックを行いホーム長に連絡、その時の状態で先にかかりつけ医に連絡し支持に従う。防災訓練の時、心臓マッサージの仕方を習った。全職員ではないので再々受講出来る様にしたい。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に2回の消防訓練をしている。出火元も変えて訓練している。消防署の方や地域の防災さんにも参加して頂き、避難の方法も教えて頂いている。 (外部評価) 避難訓練時、地域の防災士の方から、連絡先を教えてください、いざという時協力いただけることとなった。又、消防署の方から2階の車椅子を利用している利用者の避難方法を教えていただいた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人一人の人格を尊重して支援をしているが、残念ながらまだ強い口調で対応している所が見られる。 (外部評価) 管理者は、利用者への対応について、気を付けることを職員に話しておられる。トイレ誘導や服薬支援時等、時に「早く」と利用者になってしまうような場面もある。	事業所では、「利用者への対応や言葉かけ等、慣れ合いにならないように気を付け、さらに質の高いケアが提供できる事業所を目指していきたい」と話しておられた。定期的に職員同士で点検し合ったり、話し合うような機会を設け、職員個々のスキルを高めていかれてほしい。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者さんが何を望んでいるのか、何をしたいのか自ら行動表現できるように声かけをし自己決定して頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) どうしても時間に追われてしまい、入浴はご希望時に入って頂いているが、共同生活の中でということもあり、 その方その方のペースもその人らしい暮らしが出来てきているか? と言えば考えさせられてしまう所がある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 起床時には身だしなみを整える。又、気分のいい時はマニキュアなどもしている。年に3回(誕生日・クリスマス・敬老の日)プレゼント(服など)をしている。 季節に応じた服を着て頂いている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) やはり食べることは一番の楽しみだと思い、大きさや量等 工夫して対応している。病気などから制限のある方は、 ご家族さんやかかりつけ医と相談し対応している。 又、一緒に食事や片付けをしている。	
			(外部評価) 事業所の昼食は、現在、週に3日、業者から届くようになってきている。利用者はランチョンマットや箸、湯呑みを並べられたり片付けをされている。食事制限のある方には、主食を減らしておられるが、会話をしながら、ゆっくりしっかり噛むことで満腹感を味わえるよう、声をかけ支援されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎日の生活記録にまとめている。チェック表に記録している。一日単位のもの一ヶ月単位のものなどある。 (カンファレンスにも使用している)	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 必ず声かけし自ら出来る方はして頂き、介助の必要な方は 仕上げをさせて頂いている。又、自分が出来る方もされようとしないので声をかけるがそれによって機嫌を悪くする方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	個々に声かけし、介助が必要な方は時間を決めてトイレにて排泄を行っている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	水分摂取の声かけや野菜も食べやすくしたり工夫をしながら対応している。散歩にも出たりしている。出ない時には日数を考え下剤を使用している。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	バイタルチェック時に希望をお聞きしている。又、入浴前にもお聞きしている。前日入浴していない方を優先に入浴して頂いている。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	やはり夜寝れない方がいらっしゃいますが、生活リズムの ようなものがあるらしく、眠れない日が2・3日続く 又、2・3日眠る日が続く。朝、早く目が覚めるため日中うとうとされる方もいる。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 定期的に服用する薬とその時の状態が出る薬とあるので、十分注意してセットし服用して頂きます。又、何の薬であるかは申し送りノートに記入して全員に分かる様にしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 洗濯物を干す時とたたむ時には声をかけて出来る所をして頂いている。小さいことでも自分の出来る事はして頂いている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 毎日出たい方・出たくない方とおり、声をかけて外出して頂く。(散歩・買物・デイのマッサージなど)少しでもホームより外に出れるよう支援している。	
			(外部評価) 近くのス-パ-への買物や近所の公園までの散歩等、ほぼ毎日外出されている、外に出ることが億劫と言われる方には、踊りや歌等、興味のあるイベント等にお誘いしたり、買い物帰りに少しドライブされることもある。月1,2回は、デイサービスの大型車を使用して飛行場や観光港に行かれたり、季節毎に果物狩りや花見等には、利用者全員で出かけておられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 被害妄想の方もいらっしゃいますのでホームではお金を預らせて頂いております。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族さんから手紙や絵手紙など定期的に送ってくださる方もいらっしゃいます。毎日来所して下さる方もおり、気にかけて下さっている方は多いです。時々こちらから電話を掛けたりもしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>リビングは季節に応じた飾りつけや花などおいている。 トイレは外から入っているかどうか分からないのでカードをつけている。風呂場の入り口はもう少し整理したいと思っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関や居間には季節の花や植物の蔓のリースが飾られ、職員と利用者で一緒に作った色紙の葡萄の実が壁面に飾られて、もうすぐ全員で出かける葡萄狩りの話題のきっかけとなっていた。外出やイベント時等の思い出の写真も飾られていた。ソファや畳スペース等、それぞれの場所でくつろぐ利用者の様子がうかがえた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>TVの前のタタミの所がゆったり過ごせる場所になっている。それでも独りになれる所といえばやはり居室になる。 (スペースが限られているため)</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>何でも使い慣れた物を使って頂いている。(大切な物・好きな物) 他の人の迷惑にならない様に夜間TVが見られるよう持ち込んで入る方もいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>部屋の入口には、表札と共に、利用者それぞれに違う布製の飾りが飾られている。居室には、椅子やタンス、仏壇等を持ち込んでおられる方もある。ご家族から送られてきた写真や絵手紙を飾っている方や、歩行困難な方のお部屋は畳を置き、転倒予防やご本人自身の移動がし易いように配慮されていた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>全ての行動には声かけをしている。それによって今自分がすることや、どこに行くかが理解できて行動に移すことが出来るためである。介助の必要な方は、付いて安全に生活出来る様支援している。</p>	